

# 八戸酒造株式会社について

## 1 社長略歴

氏名	駒井 庄三郎 (こまい しょうざぶろう)		
生年月日	1946年8月16日	69歳	
職歴	1975年	株式会社駒井酒造店	入社
	1980年	同社	専務取締役
	1989年	同社	代表取締役
	1998年	八戸酒造株式会社	代表取締役 (現任)

## 2 会社概要

1775年	2月	初代 庄三郎	南部剣吉にて糶店を開業
1888年	10月	4代 庄三郎	湊浜通りにて酒造店を開業
1944年	10月	6代 庄三郎	戦時下企業整備令により三戸郡内酒造家15軒と企業合同し、八戸酒類(株)第三工場となる
1998年	6月	8代 庄三郎	八戸酒類(株)を離脱し、八戸酒造(株)を設立

## 3 陸奥八仙大吟醸の概要

特徴：2002年より「青森県の地酒として青森県産米を使用する」方針を決め酒造好適米、一般米を含め全て県産米を使用、特に大吟醸は「華想い」を使用、酵母も青森県酵母「まほろば吟」を使用している。

製造本数：1.8L 795本 720ml 1,285本

価格：1.8L 7,020円 720ml 3,564円

販売店：弊社特約県内外酒販店 58店舗

## 4 インターナショナル・ワイン・チャレンジ (IWC) トロフィー受賞

IWCとは、世界最大規模を誇るワインのコンペティションであり、2007年からは日本酒部門が設けられている。

日本酒部門は、普通酒、本醸造、純米酒、純米吟醸酒、純米大吟醸酒、吟醸、大吟醸、古酒、スパークリング酒の9部門に分けられており、部門毎に「金」「銀」「銅」メダル受賞酒が選ばれ、金メダル受賞酒の中から最も優れた1本が部門毎の「トロフィー酒」に選ばれる。

本年は、過去最高となる346社 (うち海外4社)、1,282銘柄 (うち海外7銘柄) が出品され、トロフィーの受賞がますます難関となっていた。

その中で、八戸酒造株式会社の「陸奥八仙大吟醸」は、2007年からスタートした日本酒部門において、青森県で初めて、大吟醸酒部門でトロフィーを受賞し、世界的に高評価を得た。

<参考>

2016年トロフィー受賞酒

部門	都道府県	銘柄/生産者
普通酒	岐阜県	蓬萊 天才杜氏の入魂酒/(有)渡辺酒造店
本醸造	岩手県	本醸造 南部美人/(株)南部美人
純米酒	山形県	出羽桜 出羽の里/出羽桜酒造(株)
純米吟醸酒	茨城県	御慶事 純米吟醸/青木酒造(株)
純米大吟醸酒	秋田県	天の戸 純米大吟醸 35/浅舞酒造(株)
吟醸	山形県	出羽桜 桜花吟醸/出羽桜酒造(株)
<b>大吟醸</b>	<b>青森県</b>	<b>陸奥八仙 大吟醸/八戸酒造(株)</b>
古酒	岡山県	古酒 永久の輝/宮下酒造(株)
スパークリング酒	高知県	スパークリング酒 匠/土佐酒造(株)

5 「JAL 新・JAPAN PROJECT」への協力

JALグループでは、「観光振興」と「農水産物」をテーマとした、「JAL 新・JAPAN PROJECT」を立ち上げ、地域の声を聞きながら、JALが地域と一緒に「地方の元気」をつくっていこうという取組を実施している。

この取組の中で、青森県南津軽郡「星野リゾート 界 津軽」とコラボレーションし、平成28年8月の国内線ファーストクラス機内食は、青森県の夏を感じる食材を利用したメニューを提供するということで、機内誌の「SKYWARD」に掲載されており、こだわりの日本酒として、八戸酒造株式会社の「陸奥八仙 純米大吟醸 華想い5.0」が選ばれている。